

“音展 TOKYO 2013”

「オーディオ・ホームシアター展2013」

～ヘッドホンからホームユースまで～

記者発表会

2013年7月26日



一般社団法人

日本オーディオ協会

JAPAN
AUDIO
SOCIETY

主催者挨拶

一般社団法人日本オーディオ協会
会長
校條 亮治

進化する「オーディオ・ホームシアター展」の開催に際し

今年は、新たな会場で、さらに進化した「オーディオ・ホームシアター展」を開催する運びとなりました。

これまで、秋葉原地区において4回開催してまいりました同展示会は、今回は全く新しい会場であるテレコムセンター駅前の「タイム24ビル」を借り切って、新しいお客様を迎えて開催することとなりました。

本当に早いもので秋葉原会場にて4年/4回を数えました。この間、国難である「東日本大震災」を受けましたが、国難を乗り越えるべく継続開催してまいりました。また、復興道半ばではありますが、開催と支援を頂きました皆様には心から感謝を申し上げますと共に、被災された皆様には一日も早い復興と心癒されますことをご祈念申し上げます。

さて、今次の会場変更についての考え方と、魅力ある提案をご案内申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第一は、新たな若年層、とりわけ女性層のお客様の開発です。秋葉原での若年層開発は大きく進展し、入場者の20歳代が60歳代を3年連続して超えました。また、初めてのお客様が6割に達したことも大成功であったと考えます。一方、女性層の開発は残念ながら横浜時を上回ることは出来ませんでした。

第二は、ご出展社のご負担軽減です。日本一オーディオ協会はクラフトメーカー様から大企業様までを擁しています。偏ることなく、個々のご出展社様のご負担を低減すべく会場を統合化し、出展費用、人的労力の両面から軽減に取り組みました。

第三は、会場の統合化により、お客様のご不便を解消し、またビギナーからマニアまでの融合化を促すこと、またこれにより、ご出展社様の新顧客開発につながることを目指しています。

そして、本展示会は「**進化する展示会**」として、新たな魅力づくりに注力をしています。

第一は、業界を代表する、コンシューマー展示会として「放送技術を含む、最新技術の展示とデモンストレーション」を企画しております。

第二は、協会ならではの最新のヘッドホン試聴や、ネットワークオーディオ、ブルーレイオーディオなど、テーマ設定と技術セミナーをご用意しております。

第三は、既に好評の協会ならではの「音のサロン」による徹底した試聴が出来ることです。

そして**第四は、お客様が参加できる「公開収録番組」、「ビッグバザール」、「工作教室」、「コンサート」等、「参加型展示会」**を目指しております。

以上、大きく進化する新たな「オーディオ・ホームシアター展」2013の開催をご提案申し上げます。オーディオ協会の総力を上げて取り組みますので、是非ともご関係者の皆様の絶大なるご支援と積極的なご参加をお願い申し上げます。

国内オーディオ市場の直近動向 (2013年7月26日JEITA・JAS事務局)

「堅調な国内市場・出荷金額＝2246億円/2012暦年(前年2260億円)

- * テレビは、大型と低価格品で復調の兆し＝6月は金額前年比70.2%
- * オーディオは、まだら模様＝6月は金額前年比91.8%
- * カーAVは、新・中古車の登録台数減で厳しい状況＝6月は金額前年比85.3%
- BDプレーヤーは、今年も大きく伸長＝6月度累計は前年比116.4%
- CDプレーヤーは、4年ぶりに落ち込んだが、据え置き型は堅調＝累計3割減
- ポータブルステレオは、前年並みに推移
- ステレオセットは、夏場は下降＝前年比80%程度
- ホームシアターセットは、夏場は下降＝6月度累計前年比102.1%
- スピーカーシステムは、小型が堅調で前年並み＝6月度累計前年比100.1%
- アンプはAV型、高級機が苦戦＝前年比85%強
- ヘッドホン、DACは高額機種に移行＝台数は横ばい
- カーナビゲーションは、PNDが4割減、フラッシュメモリで健闘＝前年比85%強
- カーCDは5月は奮闘するも夏場期待か＝累計15%減

“自ら、種を蒔かねば市場は出来ない”

「開催会場変更のご案内」

～秋葉原からお台場へ～

ご来場者コメント

- ・ 場所が分かりにくい（入口）
- ・ 会場を1か所にまとめてほしい
- ・ 期待した規模でなくて残念
- ・ 規模を大きくして開催を希望
- ・ もっと長い期間で。
- ・ 初参加だったが楽しかった。UDX会場の雑音が残念。
- ・ 休憩場所が欲しい
- ・ 期間が短い
- ・ コンパクトで見やすいがもう少しボリュームを
- ・ もっとプロジェクターの設置があればよかった来年も来ます
- ・ 製品の展示が少なく面白くなかった
- ・ イベントはどこでやっているか分かりにくい
- ・ ハイレベルの音を聴くことができました
- ・ ピュアオーディオに対する展示を希望します
- ・ ピュアオーディオの展示が少なくクオリティーも今一步
- ・ イベントや展示の方々の対応が良く、気持ちよく見られた。
- ・ 会場が分散していて会場間の案内がないので分かりにくかった
- ・ もっとアクセサリが見たい
- ・ 文化祭のようで面白かった
- ・ 会場は一か所にまとめてやって欲しい
- ・ PCオーディオ、ネットワークオーディオの最先端を知りたくて
- ・ もう少し多くの試聴ブースを設けてほしい
- ・ ソフト販売コーナーを増設して高品質・高音質ソフトを提供してほしい
- ・ 詰め込んでの試聴はもうたくさん。製品展示を多く。
- ・ メーカーの試聴室をふやしてほしい。会場内に飲食できる場所がほしい。
- ・ 隣の音が聞こえない個室ルームにしてほしい

ご出展社コメント

- ・ 2会場間の誘導に人員配置を。
- ・ もう少し広いスペースがあればと願います。
- ・ UDXにしっかりした試聴室設置を希望。
- ・ 不可能なら富士ソフトに試聴室は限定を。
- ・ 開催場所は、より芸術感度の高い「渋谷」「六本木」の方が良いのでは？
- ・ 可能であれば会場はさらに集約すべき。
- ・ 2会場での開催はアクセスに問題あり。
- ・ 小間単位でもっと音が出せたら良いと思う。
- ・ 出展コストの低減をしてほしい。
- ・ 出展料の再考を希望。
- ・ **ハイエンドやインターとの同日開催等の連携が取れるといいし、会場が一つになり部屋のバリエーションが増える**
- ・ 会場の音漏れ及び室内の照明器具の反響音に少し頭を痛めた
- ・ **富士ソフト・UDXの2会場による分散と偏りがある**
- ・ 一小間の大きさをもう少し大きくして欲しい。
- ・ **会場の設営にかかる費用が高いように感じた。**
- ・ セミナーや共同イベント中心の展示会希望。とてもよかった。
- ・ **女性層(特に若年層)が少ないように思えます。一考を。**
- ・ 若年層に向けたさらに正しい情報発信の場となるよう期待したい。
- ・ UDX平場は若い客層が多いから、ヘッドホンや小型コンポを展示して
- ・ 初心者を楽しませる展示がいい。

以前より、ご指摘いただいていた項目の強化を図るため、会場の変更を行いました。

1. 展示/試聴会場の一体化

視試聴ブースと、展示ブースの効率的移動が可能となります。

2. 試聴室ご出展料金の低減化

「出展規定」記載金額で確認いただけます。

3. 若年/女性、家族層の来場促進

広報の多様化と地域商業施設との連携をおこないます。

「オーディオ・ホームシアター展2013」～ヘッドホンからホームユースまで～ 開催概要

- 名称 「オーディオ・ホームシアター展2013」 ～ヘッドホンからホームユースまで～
(オーディオ・ホームシアター展)
英文表記: Audio・Home Theater Exhibition
公式サイト <http://www.oto10.jp>
- 会期 2013年10月18日(金)・19日(土)・20日(日) <3日間>
(10月17日 搬入設営、20日搬出)
18日(金)・19日(土) 10:00～19:00
20日(日) 10:00～17:00
- 会場 会場: 「TIME24」 TOKYO INFORMART EXPRESS
東京都江東区青海2-4-32
- アクセス ゆりかもめ「テレコムセンター駅」 徒歩2分
りんかい線「東京テレポート駅」 徒歩18分
- 目標来場者数 20,000人 (前回実績 : 27,500人)
- 出展社数 58社・団体 (前回実績 82社・団体)
- 主催 一般社団法人 日本オーディオ協会
- 企画:運営 「オーディオ・ホームシアター展」実行委員会

「開催コンセプト/運営」

ご案内

開催コンセプト

新たな挑戦！ ここまで来たオーディオ・ビジュアルの世界

音楽を楽しむ生活スタイルがさまざまに変化する中、再生される音源がパッケージと配信へ、再生機器も音の出口がスピーカーとヘッドホンにと、年代を問わず大きな変化が起きています。

ビギナーからマニアまでが楽しめる最新の情報と機器を、展示とセミナーで違いを体験できるように、ご出展社様の展示と主催者企画をとおして提案してまいります。

1. オーディオの楽しさを提案。

ホームオーディオからモバイルオーディオ、カーオーディオやホームシアターまでの幅広いオーディオの世界を、ご出展社の出展物と協会テーマ展示によって紹介していきます。



2. オーディオの基本体験機会の提供。

オーディオの楽しみは、試聴体験と開発者との接触による情報取得。試聴室の充実と多くのセミナー開催により実現します。



3. オーディオの技術啓発を推進。

注目される技術や、生活スタイルに変化を与えそうな商品や情報を、セミナーやシンポジウムで伝えていきます。



4. 参加型展示会を推進。

オーディオマニアだけでなく、ビギナーも参加して楽しんでもらえるように、試聴会だけでなくコンサートや工作体験会、展示即売会などのイベントも展開していきます。



出展小間・イベント 概要ご案内

公式ホームページ
<http://www.oto10.jp/>

総合受付

＜会場構成＞（予定）

○ ご出展小間

1F会場

無料循環バス

高層階EVホール

北口

HALL2

HALL3

通

防災
センター

コンビニ
エンス
ストア

センターホール

HALL1

エ
ス
カ
レ
ー
タ

カフェ
ラ・メール

エントランスホール

低層階EVホール

西口

専門誌販売

協会セミナー
専門誌セミナー
コンサート会場

工作教室

1F

ソフト販売

都営バス

各小間、部屋ごとの企業名は、8月1日午後16時にホームページ上でご案内いたします。

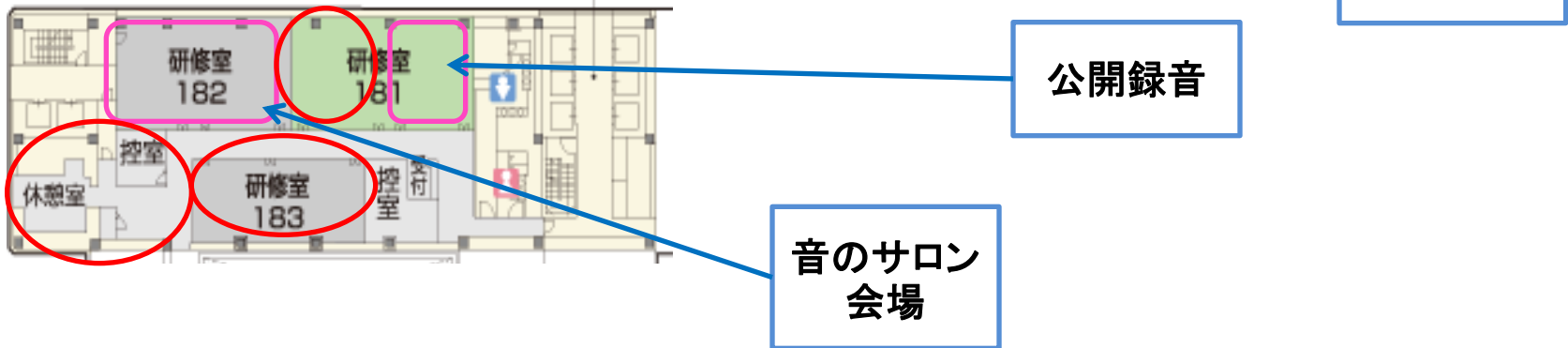
<会場構成> (予定)

2F会場

高層階EVホール



18F会場



各種イベントの開催

～ファン層拡大及び来場促進～

①セミナー

1. 協会セミナーの開催

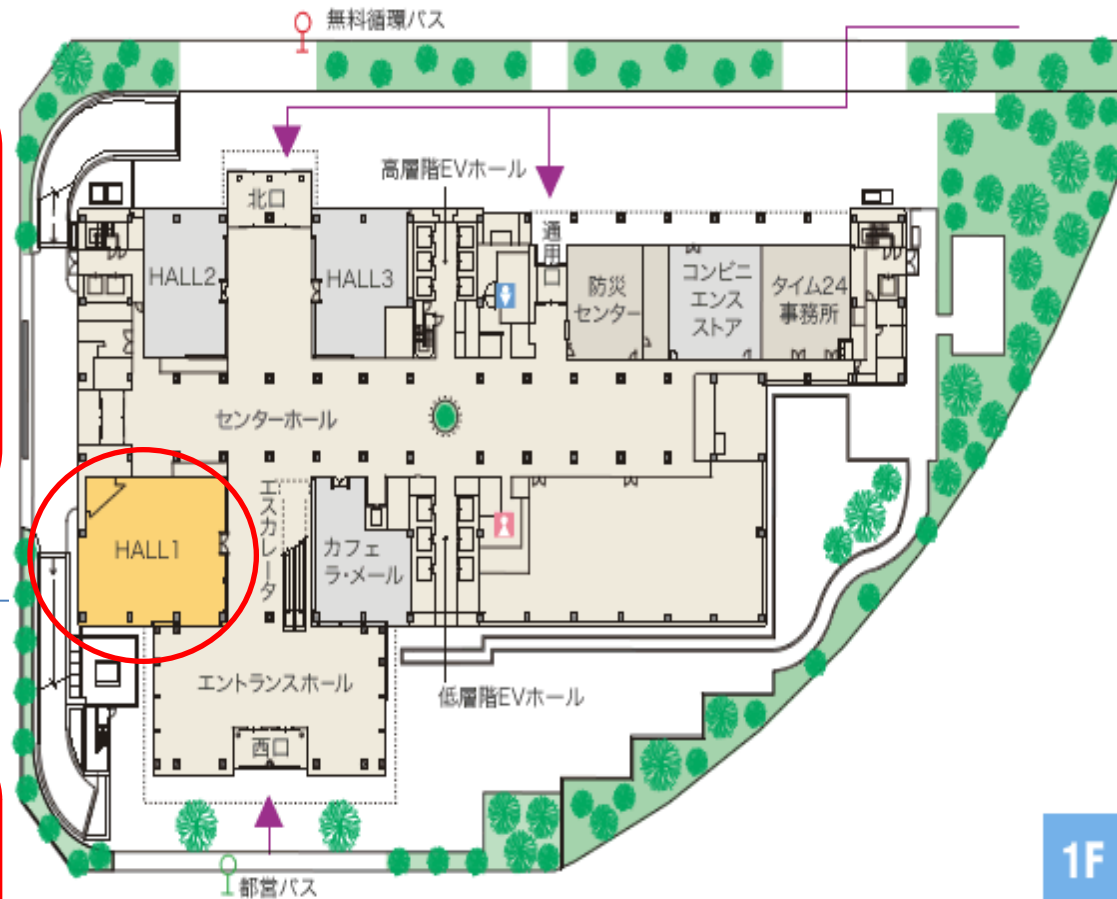
オーディオやホームシアターに関する技術や将来像を、研究者や企業エンジニアを招いて講演や実演で紹介します。

オーディオ協会が会員企業や団体と取り組んでいるテーマを、一般来場者に分かりやすく伝えていきます。

2. 専門誌セミナーの開催

オーディオ専門各誌が話題の技術や商品を、講師を招いて実演を交えて紹介します。

普段は紙面でしか見られない評論家やエンジニアが、目の前で分かりやすく説明します。



①セミナー

3. 出展社セミナーの開催

出展企業や非出展企業が自社商品や技術をアピールします。

4. NHK高画質・高音質デモの開催

日本のAV技術を牽引するNHKが、将来の家庭内AV試視聴研究の技術として、8K映像と22.1ch音声をデモします。

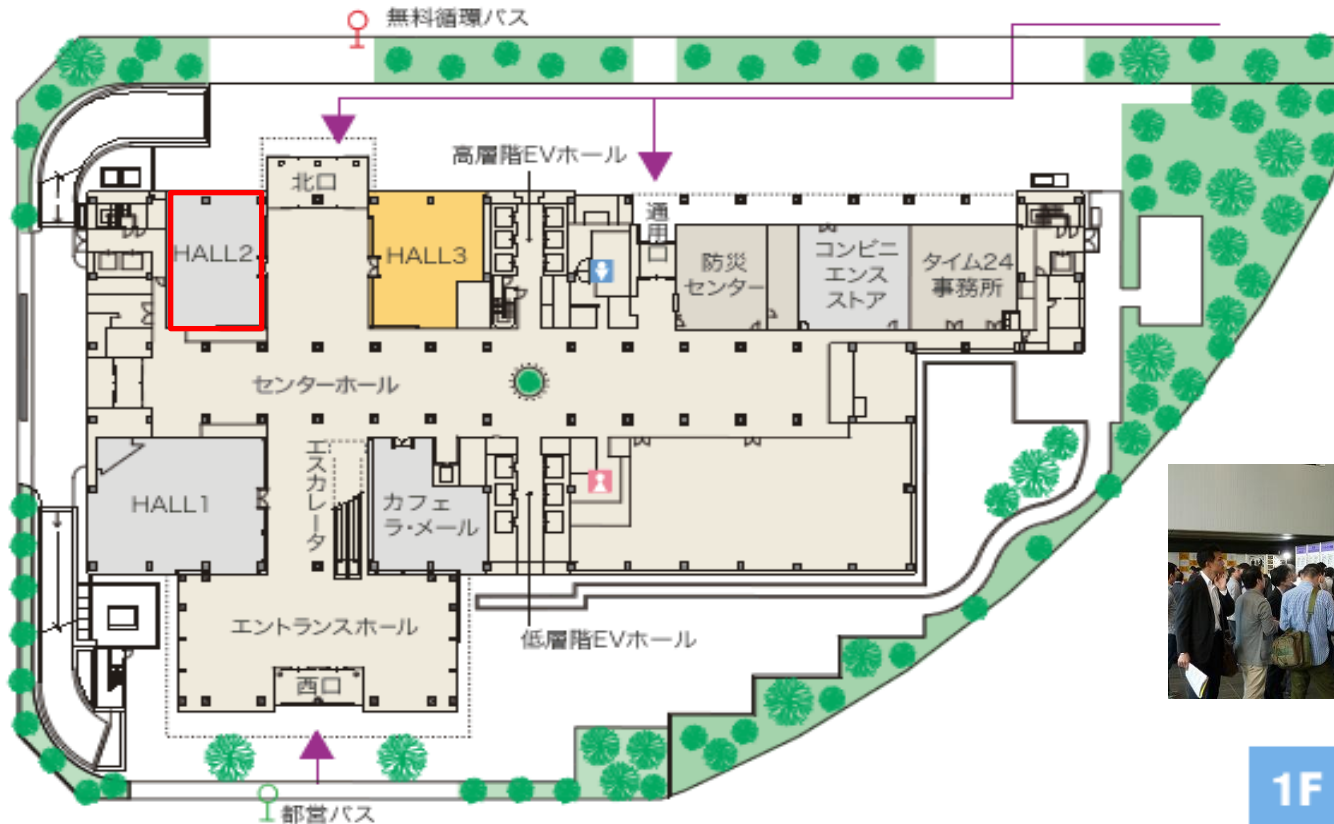


②協会テーマ展示

5. 「協会テーマ」展示

オーディオ協会が取り組むテーマや業界話題のテーマを選び、今後のオーディオの方向性を伝える展示コーナーを設置します。

今年度は、PC/ネットワークオーディオとヘッドホンを取り上げます。



③音のサロン/音楽番組収録

6. 「音のサロン」の開催

普段体験できない高音質の音楽を、メーカー枠を超え組み合わせ合わせたオーディオ機器で楽しむイベントです。
昨年は大好評で、3日間ともに全プログラムが大勢の来場者で賑わいました。ご期待ください。



7. 「公開番組収録」の開催

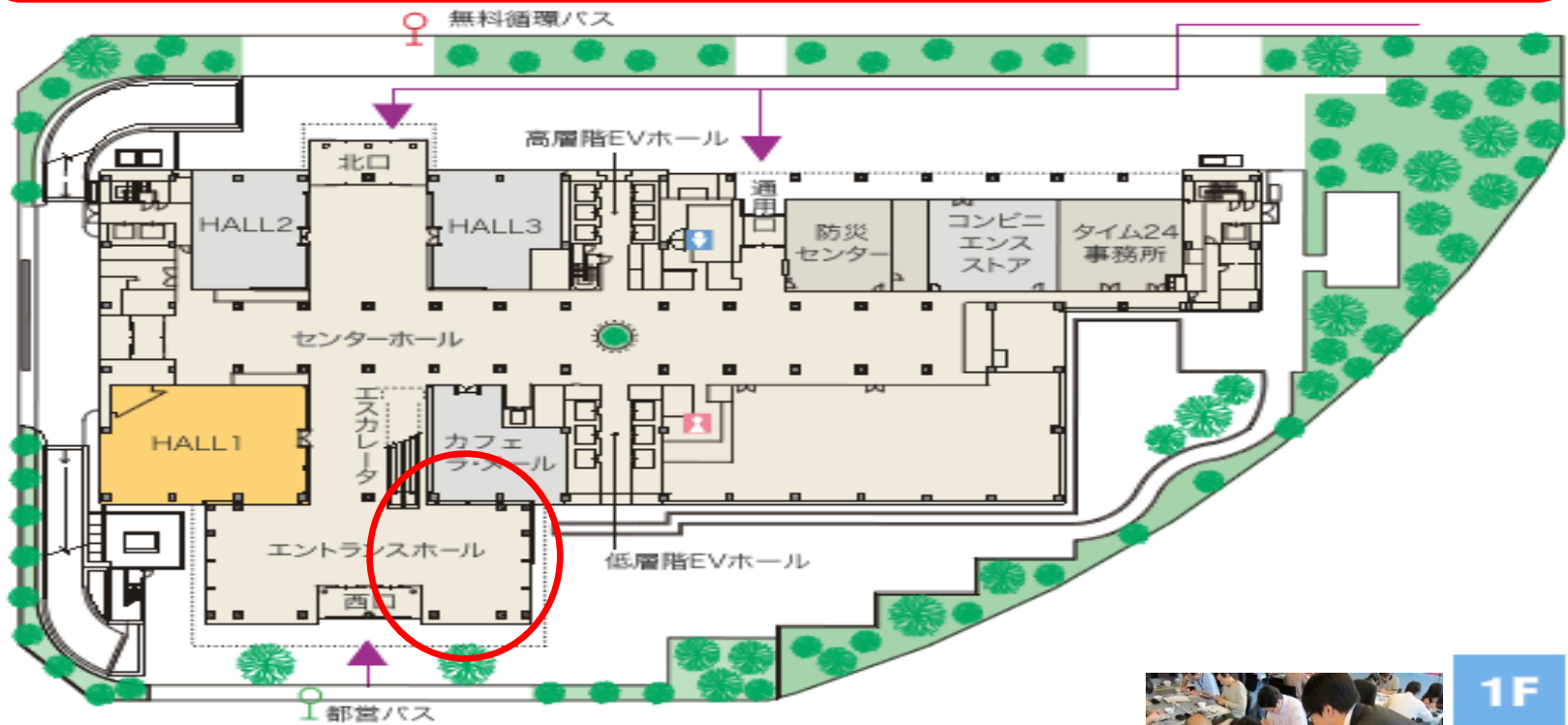
株式会社ミュージックバードの音楽番組の公開収録を行います。パーソナリティーによる軽快なトークと、音楽が楽しめます。



④ 工作体験会

8. 工作体験会の開催

年代問わず好評のイベントとなりました「工作体験会」を開催します。
事前申し込み以外に、来場促進を図るため、当日受付回も準備します。

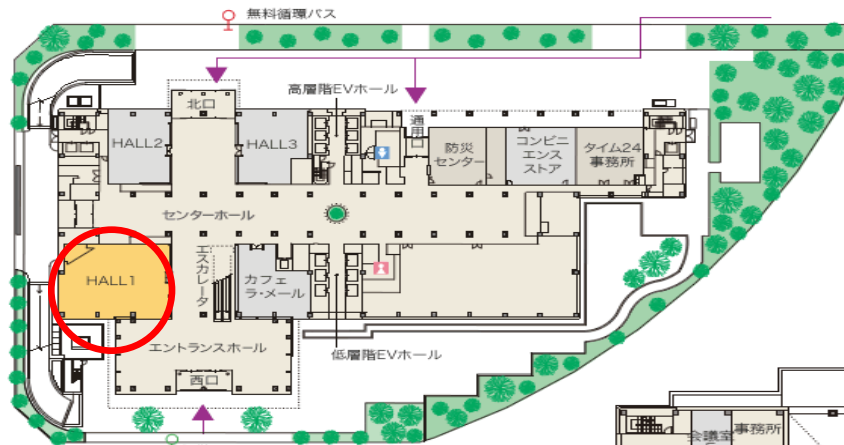


1F

⑤コンサート

9. ライブ・コンサートの開催

音楽ファンの期待に応えるライブコンサートの開催です。クラシック、ジャズ、ポピュラー音楽等が、多彩な出演者によって演奏され多くの来場者に楽しんでもらいました。今年は2プログラムの開催を予定しています。



⑥展示即売

10. 展示即売会の開催

CDやDVD、ブルーレイ等のオーディオソフトやオーディオ専門誌の各社の月刊誌や季刊誌を展示し、一部バックナンバーも準備しての販売コーナーです。



休憩コーナー(喫茶・食事は有料)

11階: レストラン「シーガル」

建物11階にあるスカイレストラン「シーガル」は、会期中の休憩や食事の利用ができます。

ただし、18日(金)はビルテナント企業利用者との共用ですのでご承知ください。

なお、19日(土)20日(日)は、音展関係者の利用となります。

ただし、食事利用は時間が限定されますのでご注意ください。

昼食はメニューより選択、飲み物は自動販売機利用となります。



広報の強化

(既存広報)

- ・WEBの活用(ホームページ・バナーリンク・BLAYN MAIL他)
- ・印刷物利用(ポスター・パンフレット)
- ・SNSの利用
- ・報道媒体利用(オーディオ専門誌・電波新聞)
- ・他オーディオイベントでの広報(ハイエンドショウ東京・真空管オーディオフェア)

(新規広報)

- ・放送媒体利用 (ミュージックバード)
- ・鉄道広告利用 (ゆりかもめ駅貼りポスター他)
- ・地域商業施設利用 (臨界副都心まちづくり協議会後援)
- ・**台場地域マンションポスティング**

台場地域商業/文化施設例

- ・お台場海浜公園: 「デックス東京ビーチ」「東京ジョイポリス」
- ・台場: 「アクアシティお台場」「シネマメディアージュ」
「ダイバーシティ東京プラザ」
- ・テレコムセンター: 「大江戸温泉物語」「科学未来館」
- ・船の科学館: 「船の科学館」
- ・青海: 「パレットタウン」

<各種広報ツール展開>

メイン・ビジュアル

会場を、江東区・お台場へと移し
新たな出発の年となります。
日本のオーディオとホームシア
ター文化を発信する象徴として富
士山をとらえ、会場お台場を海の
イメージで合わせて表現しました。
音展を参加企業とオーディオ協会
が一体となって盛り上げ、次回以
降も同系列のビジュアルで継続表
現していく予定です。



準備をしています各種広報は以下のタイミング・内容で使用予定です。

■ポスター/B2



配布数 2000枚
配布時期:9月上旬
配布箇所:
出展社・協力企業
/団体・協賛企業/店舗

■パンフレット① A4三つ折り



配布数 6万枚
配布時期 9月上旬
配布箇所:
出展社・協力企業
/団体・協賛企業/店舗

■パンフレット② A4三つ折り



配布数:6万部
配布時期:10月上旬
配布箇所:
出展社・協力企業
/団体・協賛企業/店舗

■ホームページ



公開期間:
4月1日~2013年3月末
※8月1日一般情報
公開予定

会場及び交通のご案内

「TIME 24」 TOKYO INFORMART EXPRESS 24会場

〒135-8073

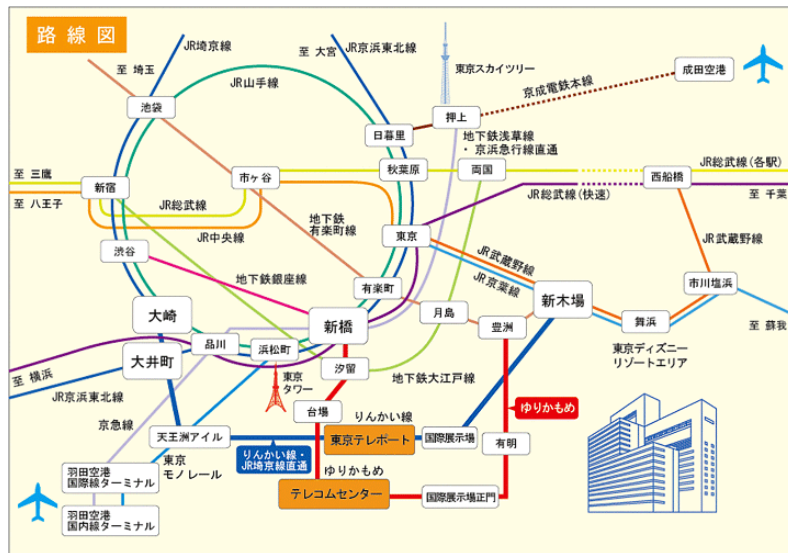
東京都江東区青海2-4-32

電車ご利用の方

- ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 徒歩2分
- りんかい線「東京テレポート」駅 徒歩18分

お車ご利用の方

●会場地下駐車場(50台)は小さいため、周辺の駐車施設をご利用ください。



資料請求、お問い合わせは

「オーディオ・ホームシアター展」事務局

(5月22日～7月28日)

〒104-0045 東京都中央区築地2-8-9 レコード会館6F 日本オーディオ協会内

担当: 遠藤

電話: 03-3546-1206 FAX: 03-3546-1207 e-mail: info@oto10.jp

(7月29日～10月17日)

〒112-0004 東京都文京区後楽2-13-10 (株)ムラヤマ内

担当:

電話: 03-3813-1726 FAX: 03-5804-3451 e-mail: info@oto10.jp

今後のスケジュール

7月26日(金)	記者発表会
7月26日(金)	展示装飾説明会
	小間位置決定・各種申込書配布・マニュアル配布 リンクバナー・清刷等配布
8月1日(木)	オフィシャルホームページ本運営開始
9月初旬	正式ポスター・パンフレット納品(出展社用)
9月中旬	各種申込み締切
10月初旬	パンフレット改訂版配布(一般配布用)
10月17日(木)	出展企業搬入・セッティング日
10月18日(金)	会期初日
10月19日(土)	会期
10月20日(日)	会期・閉会后即日搬出、撤去